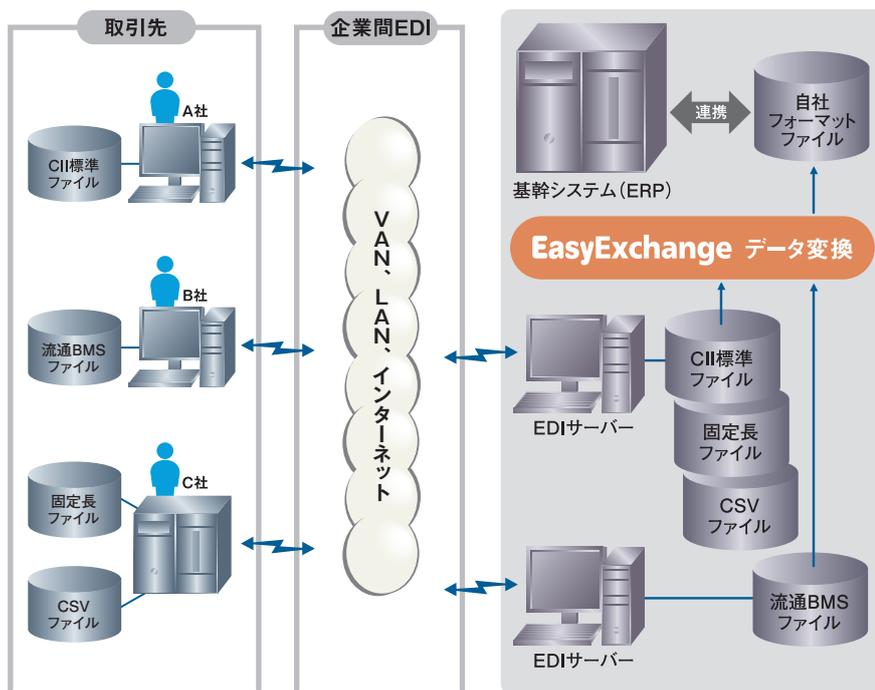


企業間 EDI / 企業内システム連携対応 データ変換ツール

EasyExchange®

流通BMS®、ZEDI、UN/EDIFACT、CII標準、固定長、可変長、CSV、TSV、DB…
様々なデータの相互変換に対応し、システム間のデータ連携を強力サポート!

EasyExchange システム構成図



企業間 EDI における、取引先との シームレスなデータ連携を実現

企業間EDIにおいて、相互のファイルフォーマットや文字コードが異なればスムーズなデータ交換は実現できません。

「EasyExchange」は、企業間EDIや社内の異なるシステム同士のデータ連携において、フォーマット変換や項目の属性変換、文字コード変換を簡単に実行できるデータ変換ツールです。GUIベースのマッピング(変換前後におけるデータレイアウトの関連付け)機能により、ドラッグ&ドロップの簡単操作でデータ変換の定義を設定できます。これまでデータ変換のプログラム開発に掛かっていたコストや時間を大幅に低減できます。

EasyExchange のデータ変換 (例)

●フォーマット変換



●項目属性変換

数値データ変換
(符号付きバック形式、ゾーン形式)
日付データの編集
マスター参照による商品コード変換

●文字コード変換



(IBM/富士通/日立/NEC/UNISYS)

EasyExchange は

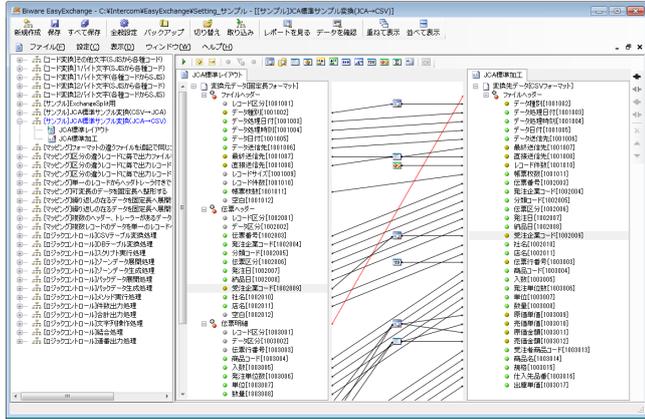
こんな用途にオススメです!

- 取引先と自社基幹システムのデータ連携に
- 汎用機とオープン システムのデータ連携に
- 社内の異なる業務システム間のデータ連携に

特長

■ 操作性に優れたデータ マッピング画面

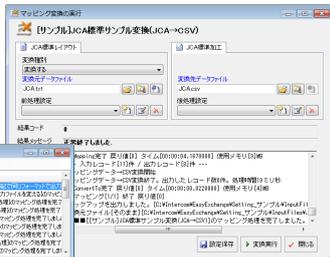
専用画面から、ドラッグ & ドロップの簡単操作によるマッピング設定が可能です。レイアウト変換時の付加処理を定義するロジックコントロールも GUI 上から設定できます。また、変換先のデータレイアウトが変換元のデータレイアウトと同じ場合は、変換元のデータレイアウトを変換先へ複製し、一括で横並びのマッピングを設定したり、変換元と変換先で項目名が同じものを自動的にマッピングすることもできます。



データ マッピング画面

■ 運用効率を上げる変換レポートや設定エラー検出機能

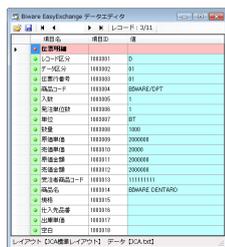
マッピング設定時の項目の関連付けやロジックコントロールについて、設定の都度、動作確認を行ってエラーを検出できます。複雑なマッピング設定であっても、設定エラーを容易に見つけられますので安心です。また、データ変換時の詳細レポートを出力できますので、変換エラーが発生した際の原因追及を容易に行うことができます。



マッピング テスト画面と
詳細レポートビューアー画面

■ 豊富なデータ編集機能を搭載

様々な項目属性(半角文字、全角文字、数字、ゾーン形式、バック形式、日付、バイナリ)に対応して、変換や編集が容易に行えます。それぞれの項目編集機能として、数値丸め、固定値の代入、内部変数の代入、大文字・小文字変換、半角・全角変換、西暦・和暦変換、2桁年・4桁年変換、システム日時の代入などがあります。その他、ロジックコントロールとして、文字列操作、項目結合、ユーザー独自関数呼び出し、マスターテーブル(CSV、DB)参照によるコード置き換えなど豊富なデータ編集機能があります。

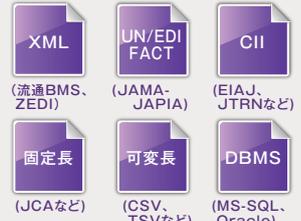


データビューアー画面

■ 様々なデータフォーマット変換に対応

XML(流通BMS、ZEDI)、UN/EDIFACT(JAMA-JAPIA)、CII 標準、固定長、可変長など、様々なフォーマットのデータを取り扱うことができます。また、例えば社内の 1 ローカル ファイルを複数の標準ファイルへ変換するというように、ファイルの分割(1 対 N)変換や、その反対にファイルの結合(N 対 1)変換も行うことができます。

多様な変換フォーマットに対応



■ 大量のデータ変換に対応する、高速な変換エンジンを搭載

文字コードの変換は一字ずつ順に換処理を行うことになるため、多大な負担や時間がかかります。本商品では文字コード変換をはじめ様々なデータ変換の高速処理を実現しています。新バージョンでもさらなる改良を行い、変換エンジンの高速化を実現しました。

圧倒的に速い変換エンジンを搭載!

XML ファイルを CSV ファイルに変換する際にかかった時間を新バージョンと旧バージョンで測定。(2015年4月 弊社調べ)



※上記測定結果は一例です。実際の変換処理時間は、データのフォーマットやサイズ、運用環境などによって異なります。

■ 国内で利用されている様々な文字コード変換に対応

Shift JIS、JIS、EBCDIC※、IBM 漢字、JEF 漢字 -78、JEF 漢字 -83、KEIS 漢字 -78、KEIS 漢字 -83、UNISYS、バイナリ、EUC-JP、UTF-8、UTF-16 (BE)、UTF-16 (LE)、UTF-32 (BE)、UTF-32 (LE)、JIPS (J)、JIPS (E) といった様々な文字コードの変換が可能です。

※EBCDIC コードは、標準、日立(カナ)、NEC(カナ)、IBM(カナ)に対応しています。

主な機能

- データ フォーマット変換
- データ マッピング
- データビューアー
- マッピング テスト
- データ項目属性変換 / 編集
- 文字コード変換
- ロジック コントロール
- 変換レポート
- スキーマチェック
- ZEDI 電文への商流 EDI 情報付加

(各機能の詳細は弊社Webサイトをご覧ください)

動作環境 ※最新の動作環境および詳細については Web サイトをご覧ください。

OS	<ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2025 / 2022 / 2019 / 2016 Windows 11 / 10 ※日本語版 OS のみ対応します。
コンピューター本体	CPU : Core 2 Duo 2.0GHz 相当以上
メモリ	2GB 以上 (推奨 4GB 以上)
ハードディスク	200MB 以上の空き容量 (インストール時)
その他	※Windows Server 2025 / 2022 / 2019 / 2016、Windows 11 / 10 では、.NET Framework 3.5 および 4.x が必要です (.NET Framework 4.x のバージョンは、お使いの OS が対応している最新バージョンが必要です)。EasyExchange のインストール後、必ず [Windows Update] を実行して、OS および .NET Framework を最新の状態にしてご使用ください。 ※データベースのデータ変換について、詳細は Web サイトをご覧ください。 ※仮想化環境への対応については、Web サイトをご覧ください。

価格 ソフトウェア & 保守サポートサービス (1年) のセット商品です。

■ EasyExchange スタンダード 1年保守付きパック -NP : 価格 200,000 円 (税抜)

・変換設定、テスト実行、運用モードは1台のPCでのみ実行可能です。

・複数の変換処理は順番に処理されます。

■ EasyExchange プロフェッショナル 1年保守付きパック -NP : 価格 700,000 円 (税抜)

・複数のPCで同時に変換設定やテスト実行が可能です。なお運用モードでの実行は1台のPCでのみ可能です (各 PC にクライアント用アプリケーションをインストールする必要があります)。

・マルチタスクにて複数の変換処理が同時に並列動作します。

※株式会社インターコム、interCOM、Biware、EasyExchangeは、株式会社インターコムの登録商標です。※Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。※その他記載されている会社名および商品名は各社の登録商標もしくは商標です。※本商品の内容・仕様は予告なく変更する場合があります。

●開発・販売

株式会社 **インターコム** <https://www.intercom.co.jp/>

本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
TEL : 03-4212-2772

東北営業所 中部営業所 西日本営業所 九州オフィス

▼事業所一覧

